

シンポジウム「地域の知」の統合に向けて：地域情報データベースの利活用」の開催について

1. 主 催 日本学術会議地域研究委員会地域情報分科会、社団法人日本地理学会
2. 日 時 平成20年3月29日（土）13：00～17：00（予定）
3. 場 所 獨協大学 〒340-0042 草加市学園町 1-1
4. 次 第

開催趣旨

地域研究においては膨大な地域情報が蓄積されてきた。しかしながら、近年のGIS技術の発展やインターネットの普及にも関わらず、デジタル化された地域情報が十分に活用されているとは言い難い。国内外の研究者が共同利用可能な地域情報データベースの構築、ひいては、「地域の知」基盤整備に向けて、地域情報をめぐる様々な問題点や、制度的、技術的、実施的、社会的課題、などを議論する。

司会：岡本耕平・矢野桂司

13:00～13:05 趣旨説明（岡部篤行（東京大学教授、日本学術会議会員））

13:10～16:00 発表
（2時間50分＝170分）各22分で7名

水島司（東京大学）「歴史分析へのGIS導入の可能性と課題：南インドを対象に」
池谷和信（国立民族学博物館）「アフリカ地域研究とデジタル化した地域情報」
小林茂（大阪大学）、村山良之（山形大学）、宮澤仁（お茶の水女子大学）「外邦図および日本軍撮影空中写真のデータベース化とその課題：戦前期の地域資料の活用に向けて」
山本晴彦（山口先生）「満州気象資料のデータベース化による中国東北地区の気候変動解析」
高阪宏行（日本大学）「地理情報デジタルアーカイブの構築と高度利用」
原正一郎（京都大学）「地域研究の視点からの情報資源の共有化—時空間情報の高度利用—」
浅見泰司（東京大学）「『「地域の知」の統合』提言文書について（仮）」

16:00～16:55 討論（55分）

16:55～17:00 閉会挨拶（柴山守（京都大学教授、日本学術会議連携会員））

【申し込み】

事前申し込みは不要です。

【お問い合わせ先】

立命館大学文学部地理学教室 矢野桂司
EMAIL yano@lt.ritsumei.ac.jp

「地域の知」の統合に向けて

—地域情報データベースの利活用—

平成20年

3.29 **土** 13:00~17:20

獨協大学 天野貞祐記念館
A207教室(第3教室)

〒340-0042
草加市学園町1-1

入場
無料

主催 | 社団法人日本地理学会 日本学術会議地域研究委員会地域情報分科会

オーガナイザー | 岡部篤行(東京大学) 柴山 守(京都大学) 浅見泰司(東京大学) 岡本耕平(名古屋大学) 貴志俊彦(神奈川大学)
高阪宏行(日本大学) 佐野賢治(神奈川大学) 水島 司(東京大学) 矢野桂司(立命館大学)

地域研究においては膨大な地域情報が蓄積されてきた。しかしながら、近年のGIS技術の発展やインターネットの普及にも関わらず、デジタル化された地域情報が十分に活用されているとは言い難い。国内外の研究者が共同利用可能な地域情報データベースの構築、ひいては、「地域の知」基盤整備に向けて、地域情報をめぐる様々な問題点や、制度的、技術的、実施的、社会的課題などを議論する。

13:00 開始

[座長] 岡本耕平・矢野桂司

13:00-13:05 趣旨説明 岡部篤行(東京大学)

13:05-13:30 水島司(東京大学)

歴史分析へのGIS導入の可能性と課題:南インドを対象に

13:30-13:55 池谷和信(国立民族学博物館)

アフリカを対象にした地域研究とGIS

13:55-14:20 小林茂(大阪大学)・村山良之(山形大学)・宮澤仁(お茶の水女子大学)

外邦図および日本軍撮影空中写真のデータベース化とその課題
—戦前期の地域資料の活用に向けて—

14:20-14:45 山本晴彦・岩谷潔(山口大学)・張継権(東北師範大学)

満州気象資料のデータベース化による中国東北地区の気候変動解析

[休憩] 14:45-14:55

14:55-15:20 高阪宏行(日本大学)

地理情報デジタルアーカイブの構築と高度利用

15:20-15:45 原正一郎(京都大学)

地域研究の視点からの情報資源の共有化—時空間情報の高度利用—

15:45-16:10 浅見泰司(東京大学)

「地域の知」の統合に向けて

[休憩] 16:10-16:15

16:15-17:15 討 論

17:15-17:20 閉会挨拶 柴山守(京都大学)

17:20 終 了